

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月
国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

—

2. 学校概要

学校名 金沢市立戸板小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 920-0051
石川県金沢市二口町ハ42

E-mail : toita-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/toita-e>

児童生徒数：男子 266名 女子 271名 合計 537名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解) 世界遺産 平和・人権 (環境) 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 (食育) (伝統文化) そのほか (福祉)
 そのほか ()

以下につきましては、該当する取組を実施した場合のみ
記載をお願いします。

- 実施テーマにおける教材の工夫や授業手法における工夫。
 - ・課題解決のための学習過程を本校では、「1 見つける」「2 調べる」「3 考える」「4 伝える」「5 生かす」と設定し、児童が学び方を身につけることをめあてとし、繰り返しながら学習を進めてきた。
 - 3年 「食育」 とうふ作りの工程を地域のお店に見学に行った。
 - 4年 「福祉」 地域の保育園を実際に複数回訪問し、保育園児との交流をした。
 - 5年 「環境」 校区にある河川に出向き、水生生物の観察等による水質調査を行った。サケの稚魚の放流も計画している。
 - 6年 「国際理解」 留学生の方をゲストとしてお招きし、自分たちが調査してきた金沢市の文化について発信したり、留学生の方の母国の文化についてお聞きしたりし交流した。

- 実施テーマに関連した研究旅行の実施。
 - ・特になし

- 他国の学校との交流や相互協力の実施。(交流した国、学校名の記載もお願いします。特に相手校が ASP ネットワークに参加している場合は、その旨も記載願います。)
 - ・国際交流員や留学生との交流はあった。ロシア、中国、アメリカ、韓国、ベルギー、フランス、バングラデシュの方々である。(6年生)
 - ・他学年においては、金沢市内の別の小学校との交流をした。

- 国連やユネスコが取り組む国際的な記念日、国際年、国際的な10年を記念する取組の実施。(国際母語の日、国際天文年、識字の10年など)
 - ・特になし